

Unit7

- 7-A,7-B 子音の組み合わせは発音するのが簡単そうに見えて意外と難しい。
教科書にあるように、英語は1つの母音、あるいは1～3つの子音から始まる。

Question! 子音連結の表の中で×の箇所があるが、それはどうしてだろうか。

・
・

Attention! 7-A,7-B の表の中で×がある箇所にも例外がある。

(例) schwa, 人の名前

- 7-C 聞き手に明確に理解してもらえるように気をつけること
 - ・子音を他のものと間違えないようにする
 - ・子音を省いてしまわないようにする
 - ・子音と子音の間に余計な母音を付け足さないようにする
 - ・単語の初めに余計な母音を付け足さないようにする

Exercises 7.1 発音して練習してみよう

7.3 違いに気をつけて聞いてみよう

Unit8

- 8-A 英単語の最後に考えられる子音の組み合わせは、英語の最初にあるものより数多く存在する。その組み合わせは4つまでである。
- 8-B 3つ、あるいは4つの子音の組み合わせを発音することは、native speaker にとっても困難である。したがって、一般的に単純化される。
- 8-C 単語の最後の子音を省くことは誤解を招くので避けるべきである。
- 8-D 読みやすくするために子音連結の部分に母音を付け足すことは、誤解を招くので避けよう。そこで、気をつけること
 - ・子音と子音の間に余計な母音を付け足さないようにする
 - ・単語の最後に余計な母音を付け足さないようにする
 - ・形容詞の最後に余計な母音を付け足すことは、比較級と間違えやすいので避ける

Exercises 8.3 音の違いに気を付けて聞き取ろう

8.4 アンナが話すニュースを聞いて、誤って発音した単語を正しく直そう

Unit9 子音が内部に含まれる単語、2つの単語にまたがる子音の読み方を学ぶ

●9-A 子音が内部に含まれる単語

※ 単語の内部にある子音の組み合わせの中には、単語の先頭部分にある子音、語尾部分にある子音と共通するものがある。

●9-B 文章を読むとき子音が先頭にある単語が、子音が語尾に付く単語の後ろに続くことがある。そんな時2つの単語にそれぞれの子音がまたがることで新しい子音の組み合わせが生まれる場合がある。→ポーズなしで発音することは難しい。

●9-C 会話の中では、いくつかの子音は読みやすくするために簡単化される(読みやすい発音に換える、発音を省く)ことがある。

●9-D 会話の中では、単語はフレーズ化、合成化されて読まれる。よって単語と単語の境目では子音をつなげて、1つの子音と考えて、文章を読むことを意識しよう。

Exercises 9.2 AとBをCDで聴いてみてアンダーラインの子音がどのように簡単化されているかを聴き取ってみよう。

Unit10 単語の stress と prominence

※stress…語勢、アクセント

prominence…文中のある単語を強調するために特に強く発音すること

●10-A party や remember のように、1つの音節にだけ stress を持つ単語と、controversial や kindergarten のように、2つの音節に stress を持つ単語がある。

会話の中で単語を強調しようとする時は、その単語の音節の1つが特に強く発音される。

Stress を含む音節が1つの単語では、その音節が強く発音され、stress を含む音節が2つの単語では、第一の stress を持つ音節が強く発音される。

●10-B controversial のような2つの音節に stress を持つ単語では、その後ろにくる単語によって、強く発音する音節が変わることがある。→stress shift

※stress shift が起こる条件

① 第二の stress を持つ音節が、第一の stress を持つ音節よりも前にあること。

② stress を持つ音節が異なる単語(特に stress を持つ音節が、最初の音節である単語)が後ろに来ること。

Note ; 2つの音節に stress を持つ単語でも、stress shift が起こらない場合もある。

●10-C 強調したり、対比したりするためであれば、stress を含まない音節でも、強く発音することが出来る。

Exercises 10.1 1~9の単語の stress を含む音節の数を()に書き、また、第一の stress を持つ音節を丸で囲み、第二の stress を持つ音節には下線を引こう。

Unit11 接尾語とアクセント

- 11-A **dangerous** のように接尾語(ous 等)のつく単語がある。
接尾語のつくいくつかの単語では原形と同じ音節にアクセントがつく。
また、原形と接尾語がついた単語ではアクセントの位置が異なる場合がある。
- 11-B 原形についてもアクセントの位置が変わらない接尾語には - able, - age, - al, - er, - ful, - less, - ness, - ous, - fy などがある。
 - ※ - able, - al には **admire—admirable** のような例外もある。また、- ious, - ulous, - orous, - eous のような接尾語のつく単語では主要アクセントは接尾語の前の音節につく。
- 11-C - ee, - eer, - ese, - ette などのつく単語は接尾語自身に主要アクセントがある。
 - ※ ただし **omelette, etiquette, employee** などの例外はある。またこれらの接尾語がついた単語はしばしばストレスシフトする。

Unit12

- 12-A 次のような接尾語のつく単語では、アクセントが接尾語の直前の音節にある。
接尾語： - ial, - ic, - ion, - ive, - ity
 - ※ -ative で終わる単語は通常アクセントが原形と同じところにある。接尾語がついた単語の多くはストレスシフトする。
- tion, - sion, - ssion の発音の仕方には区別がある。
- 12-B - ant, - ent, - ance, - ence で終わる名詞と形容詞のアクセントの配置はその直前の音節(the pre-suffix syllable)のスペルによって決まる。
 - ・ the pre-suffix syllable が母音1文字(V)または母音と子音が1文字ずつ(VC)で終わっている場合、アクセントはその音節の前の音節にある。
 - ・ the pre-suffix syllable に他のスペルがある場合、アクセントはそこにある。
 - ・ the pre-suffix syllable が i で終わり、原形が y で終わり、その音節にアクセントがある場合、アクセントは pre-suffix syllable にある。- ant, - ent, - ance, - ence で終わる単語の中には、アクセントが原形と同じ場所にあるのもと違う場所にあるものがある。
- 12-C - ment は通常アクセントの位置は変わらないが、例外もある。